

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大阪大学(吹田)薬学研究科教育研	階数	地上4F
建設地	大阪府吹田市山田丘	構造	S造
用途地域	第2種中高層住居専用地域、準防火	平均居住人員	200人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年1月 予定	評価の実施日	2021年2月1日
敷地面積	2,367㎡	作成者	坂井 大輔
建築面積	1,048㎡	確認日	2021年2月9日
延床面積	3,389㎡	確認者	坂井 大輔



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆☆ 100%☆☆☆☆ 100%超:☆☆☆☆

①参照値 100%
②建築物の取組み 83%
③上記+②以外の 83%
④上記+ 83%

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

音環境	2.3
熱環境	3.0
光・視環境	2.9
空気質環境	3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

機能性	2.8
耐用性	3.0
対応性	3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.5
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

水資源	3.4
非再生材料の	2.9
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

地球温暖化	3.6
地域環境	3.0
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他
LED照明や高効率空調等を採用し、省エネルギー環境に配慮した。また、建物周囲の緑地や隣接する建物とデザインに共通項を持たせ、景観のつながりや視覚的まとまりに配慮した計画とした。	0
Q1 室内環境 東側はライトシェルフ、西側は有孔折板を設け、Low-e複層ガラスを採用することで日射熱を抑制している。	Q3 室外環境(敷地内) 建物周囲に多くの植栽を設け、周辺の緑との調和を図っている。
LR1 エネルギー 外皮の断熱性能に配慮しBELm=0.61を達成している	LR3 敷地外環境 植栽、地被等により熱的な影響を低減するように配慮している。
Q2 サービス性能 講義室はCO ₂ センサーを設け、給排気量の制御を行い空調エネルギーを削減。	
LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上材を容易に分離可能な工法を採用している。(押出成形セメント板)	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R2-0147

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	大阪大学(吹田)薬学研究科教育研究棟新営(杏の杜プロジェクト)その他工事					
		建設地	大阪府吹田市山田丘					
		用途/区分	学校(大学等)					
【評価結果】		CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					4		
②	みどり・ヒート アイランド対策					2		
③	建物の断熱性					5		
④	エネルギー削減					4		
⑤	自然エネルギー直接利用					—		
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.6	4	
② みどり・ヒートアイランド対策								
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				2.0		
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5	
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				3.5	4	
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
先進的技術の導入								
特に配慮した事項								